

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成26年10月31日
第805号

〒952-1209 佐渡市千種丙 178 番地 1
TEL: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail: skotoba@sado.ed.jp



当教室の玄関の横に親子の銅像があります。銅像の後ろ姿が通級の職員室の窓からよく見えます。座っている母親におぶさるようにくっついている子ども。その後ろ姿から、親子の柔らかな肌の感触や温もりが伝わってくるようです。子どもたちやおうちの方々を見守ってくれているような銅像です。

留岡幸助氏と北海道家庭学校

中央児童相談所
今井 洋

児童自立支援施設とは、「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所」させ、その自立を支援することを目的とする施設です。

児童自立支援施設は、明治期に留岡幸助氏が「北海道家庭学校」を創設したことに始まります。家庭学校という校名には、「家庭の愛と学校の知にあふれた、家庭であり学校でありたい、という願いが込められている。」とのことです。

児童自立支援施設の指導は、「生活」「学習」「作業（運動）」の3本柱からなっています。「子どもを育てるには大自然の中が一番」との考えから、子どもたちは、自然の中で職員と共に一つ屋根の下で生活をし、「家庭」「学校」として一貫した指導が行われています。

留岡幸助氏と北海道家庭学校の理念には、現代の家庭や教育にも通じる考えがあるように思い、その一部を御紹介しました。

※児童自立支援施設の三能主義「よく働き、よく食べ、よく眠る。」（北海道家庭学校 HP から一部抜粋）

夏季研修会の報告

佐渡ことば・こころの教室には、軽度から高度難聴、一側性難聴、伝音性難聴等、様々な難聴をもった児童も通級しています。ここ数年でその人数が急増してきたことから、8月に日本言語障害児教育研究会の聴覚障害の研修講座に参加し、学ぶ機会をいただきました。

東京学芸大学の濱田豊彦先生の講座では、「人工内耳をしていても語い力は低いので、教育の力が必要。」「発音よりも言語力、分かろうとする子どもを育てる。」という話が心に残りました。

また、東京学芸大学の澤隆史先生の講座では、「一つの言葉で教師がどれだけ引っ張っていけるかが重要。」「言語指導は“受けて”“広げて”“まとめる”そして、知りたがりの子どもに育てる。」という話が心に残りました。

この研修で学んだことを実践しています。しかし、なかなか一つの言葉で話やイメージを広げていくのは難しいものです。県内の聾学校や、難聴通級の先生方で、これがとても上手な先生がたくさんいます。このような先生方からも情報を得て、自分自身の指導技術が向上できるように、研修と実践を重ねていきたいと思っています。（佐藤）

親の会 コーナー



第1回親の会学習会がありました

9月20日（土）に、第1回親の会学習会を金井小学校で行いました。現会員や教育関係者の皆様など、総勢53名の方が参加しました。

今回は、佐渡市子ども若者相談センターの石塚秀美様から、佐渡市の子どもたちの現状について御講演をいただきました。「完璧な親はいないからこそ、子どもの発達段階や、個々の状態を理解し、過度の要求をしない。」「子どもが成長していく過程では、たくさんの手と見守りが必要。」など、子育てにかかわる良いヒントを多く教えていただきました。

また、グループ懇談会では、参加者の一人一人が、日ごろの悩みや困っていること等を話し合うことができ、とても有意義な会となりました。参加された方の感想を紹介します。



参加者の感想

- 色々な悩みを抱えている親がいることを知り、自分だけではないと分かり、少し安心しました。
- これからの子育てに役立つポイントを得ることができました。肩の力を抜いて子育てができると思います。
- 子どもの行動や心理は、周りの環境が大きく影響することが分かりました。今まで私たちが当たり前のようしてきたことが、子どもたちには分からないことがあるので、言葉や体験を通して伝えていかなくてはと思いました。

第2回親の会学習会のお知らせ

【笑いヨガ（笑いの健康法）で明るく楽しく元気に！】

来年2月7日（土）午後から、講師に上越教育大学准教授 田島弘司様をお招きし、笑いヨガの実技講座を行います。

「笑いヨガ」とは従来のヨガの呼吸法に「笑い」を取り入れ誰にでもできる笑いの体操です。ユーモアやジョークに頼らず、笑いを一つの体操として行います。笑いヨガで15～20分以上笑い続けることによって、体や心の健康に様々な効果が期待できます。笑いヨガで日頃の疲れを吹き飛ばし、保護者懇談会で語り合いませんか？詳しい案内は、後日お知らせします。